

2018年6月より、(株)ヤマウはJICA（独立行政法人国際協力機構）の「中小企業海外展開支援事業」における当社の企画案採択を受けプレキャスト雨水貯留施設導入にかかる普及・実証事業をインドネシアで進めておりました。新型コロナウイルスの影響もあり終了予定から1年以上延長となりましたが、2022年8月1日を持って事業が完了いたしました。

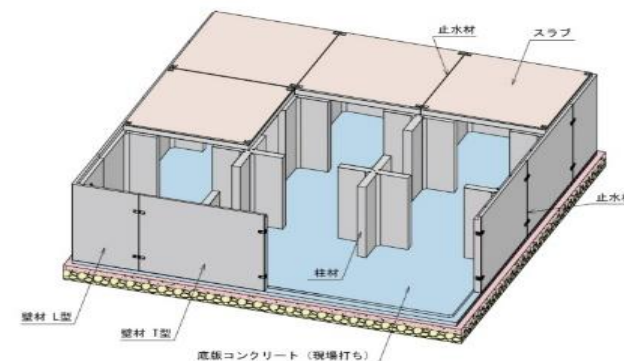
## ■ 普及・実証事業について

調査対象地域： **インドネシア国 マカッサル市** → マカッサル市及び周辺地域では雨季に雨水排出施設の能力不足により浸水が多発している

事業目的： 雨期の頻繁な道路冠水や住宅浸水の対策としてプレキャスト雨水貯留槽（アクアポンドS）の有用性を検証すること  
（雨水貯留槽とは集中豪雨の際、雨水を一時的に地下に貯留し、安全に排出する施設のこと）

・施工状況・・・現地、業務委託先の「WIKABETONマカッサル工場」にて製品を製造。冠水被害が多い道路に面している州知事公舎内に貯留槽を設置

### プレキャスト雨水貯留槽（アクアポンドS）



### 製造状況



### 据付状況



現地スタッフの方々には事前にマニュアルを基に作業手順を学んで頂いたり、OJTにて施工指導を受けて頂いた成果もあり、高品質の製品を製造して頂きました。

## ■ 貯水槽設置後の効果検証

- ・貯留槽は、集水域に降った雨量のうち、約11%を貯留。**貯留槽下流に対して、1割の流出を低減させる効果を発揮！**
- ・降雨後の水路が危険水位を越えている時間が貯留槽設置前に比べ、約3分の2に短縮。**道路の冠水時間を軽減させる効果を発揮！**

### 州知事公舎全景



貯水槽設置後の  
効果検証道路

貯留槽設置前：冠水量が多く、通行量が少ない



参考：雨量40mm

貯留槽設置後：冠水量が少なく、交通量も多い



参考：雨量43.5mm